

四之宮1 公民館だより 月号

平塚市四之宮3-20-26

電話 55-0655

FAX 54-8255

ホームページは

地図は
こちら→



平塚市立四之宮公民館 と検索

地域の情報は **四之宮ふれあい便り** と検索



令和6年 謹賀新年



旧年中は、公民館活動への御理解・御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

新しい年を迎え、地域の皆様が健康で楽しく、穏やかで笑顔があふれる一年となりますよう、職員一同、お祈り申し上げます。

また、今年も公民館の移転に向けて、準備を進めていく年でもあります。皆様のご協力をあらためてお願い申し上げます。

令和六年 元旦
四之宮公民館 職員一同



四之宮から撮影した富士山

予告

第42回

四之宮公民館まつり

♪ 芸能発表・模擬店 ♪

2月18日(日) 四之宮ふれあいセンター 10:00開始

★ 作品展示・模擬店 ★

2月24日(土)・25日(日) 四之宮公民館
10:00開始

※詳細は2月号でお知らせいたします

子育てるんるん

日時: 1月15日(月) 10:00 ~ 11:30

場所: 公民館 集会室

内容: 凧あげのタコを作ろう

新年最初のるんるんは、簡単にできる凧を作りますよ~
新しい年が素敵な一年になりますように♪



ふれあいサロン

日時: 1月15日(月) 13:00 ~

場所: 公民館 集会室

内容: 前鳥座による相模人形芝居公演



シニア向けスマートフォン体験セミナー

【市・デジタル推進課】

基本的な操作など、スマートフォンの使い方を基本から学び、体験できるセミナーを開催します。

また、後半にはマイナンバーカードの申請方法に関する講座を行います。

■日時・場所 令和6年2月13日(火) 13:30~16:00 市役所本館4階 410会議室

■対象 平塚市在住の60歳以上の方 ■定員 20人(応募者多数の場合は抽選)

■参加費 無料 ■持ち物 なし(スマホ不要) 市が用意するスマホでセミナーを行います。

■申込み 下記のいずれかの方法で、1月26日(金)までにデジタル推進課へお申し込みください。

①はがき、メールで申し込む: 郵便番号・住所・氏名・(フリガナ)・電話番号・講座名「シニア向けスマートフォン体験セミナー」・年齢・スマートフォンの有無をご記入の上、デジタル推進課へお申し込みください。

②申込書で申し込む: 各地区公民館にある申込書に必要事項を記入し、郵送・FAXまたは、直接デジタル推進課へご持参ください。

※市役所への郵便物は、〒254-8686平塚市デジタル推進課で届きます。(1月26日必着)

■問合せ デジタル推進課(☎:21-8792)(FAX:21-9756)(メール:joho@city.hiratsuka.kanagawa.jp)



四之宮地区福祉村からのお知らせ

1月の福祉村は、次のとおり実施します。なお、新型コロナに対しましては、ソーシャルディスタンスを保つことで、3密を回避し活動を行います。

開村日：毎週 月・火・水・土曜日 (祝日は休村)

場所：公民館 いこい室

開村時間：AM 10:00~12:00 PM 1:00~3:00

TEL：55-0750

手芸

1/15・22・29
いずれも(月)AM

ゴム体操・コグニサイズ

1/10・24・31
いずれも(水)PM

歌声サロン(三味線)

1/16(火)PM

小中学生への学習支援

1/13・20・27
いずれも(土)AM

1月サロンのご紹介

スカットボール

1/16(火)AM

臨床美術

1/24(水)AM

園芸クラブ

1/9・23
いずれも(火)AM

吹矢

1/22・29
いずれも(月)
9:30~

囲碁ボール

1/10・17・31
いずれも(水)AM

お茶席をたしなむ会

1月はお休みします
2月は5日(月)です

1月は9日(火)から開所です

四之宮まめ知識「四之宮 あれそればなし その13」 記事提供：四之宮郷土史同好会

前鳥神社の新年を迎えるための氏子会による注連縄(しめなわ)作りは、例年、毎年暮れの23日に行われていました。令和になってから、注連縄作りは12月第3日曜日と決まりました。

以前の注連縄作りは東町の故高橋秋造様の指導の元で神社役員が行っていました。

この時に、子供たちに一文飾りの注連縄の作り方を教えていたとのこと。

最近稲刈りの時、藁(わら)をコンバインで細かくきざんで、田の肥料とするようになりました。

自宅で藁細工物(わらざいくもの)を作る農家が無く、藁による色々の生活用品を作る家庭が見られなくなりました。



拝殿のしめ飾り

前鳥神社の注連縄作り

藁で縄を「なう」事を知らない若者が増えたために、注連縄も作れなくなったようです。

また、神棚がない家庭が多くなったのも大きな原因ではないでしょうか。

現在の注連縄作りは、神社役員と左喜登利会(さきとりかい)の方々が作業が進められています。



しめ縄作りに頑張る氏子の皆さん

写真 神社提供

事前に、氏子(うじこ)有志より藁を調達して、その藁を干歯(せんば)という農機具で藁をすき(すぐり)、日陰干ししておきます。

当日に藁を水に浸して柔らかくして、その藁を木槌(きづち)でたたき、更に柔らかくします。

太い注連縄は五・六人かかりで編んでいきますが、その時、みんなの気持が揃わないときれいな注連縄ができません。

まず一人が元を動かさないようにおさえて、2人から3人で藁をよじります。

横で藁を継ぎたす係がいて、もう一人が藁を選びすぐって継ぎたす係に渡して藁を「よじる」人に渡します。

まず2本の縄を作り、2本縄ができたなら、元から3本目の縄を「よじり」完成です。

毎年、前鳥神社では

拝殿、研修殿、赤鳥居、

神戸神社、奨学神社、

ご神木(榎の木)、

ご神木(幸せの松)

合計で7本の注連縄を作り

ます。

皆様が気持ちよく初詣ができるよう、一生懸命に作成しております。

朝9時頃より午後3時ころまでかかり、宮世話人と青年会の方々が各所に飾り付けしております。

記事協力

前鳥神社 神代春彦 司

前鳥神社 岩崎邦彦 氏子総代

四之宮郷土史

同好会

ホームページ

二六元バーコード

